

平成29年4月28日

## 助成事業実施報告書

団体名 たちかわ・財政を考える会  
代表者・役職名 氏名 会長・加藤 良重

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

「たちかわ市民財政白書」の普及と「追補版」の作成

### 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

たちかわ市民交流大学の市民企画講座として、平成25年3月から10回の財政講座を実施し、立川市を中心とした地方財政と財政白書づくりについて学習を行いました。その講座に参加したメンバー20名(現在21名)が中心になって、平成26年4月に「たちかわ・財政を考える会」を設立しました。また、平成26年11月に「立川市社会教育関係団体」に登録・承認されています。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

夕張市の財政破綻後、財政健全化への取り組みが強化され、市民が自分たちのまちの財政を学び・市民による財政白書づくりが行われています。この市民による財政白書づくりは、多摩地区で発生しており全国に広まっています。立川市近隣市町でも、昭島市・国立市・小平市・小金井市・府中市などで作成され、更に2冊目・3冊目と再版が行われています。立川市でも、平成27年度に「たちかわ市民財政白書」を作成しましたが、更に一般市民への普及と白書の内容の充実(追補版の作成)を図り、立川市の財政に関心を持つ市民の輪を広げ、この立川市を更に魅力あるまちに行きたいと思っています。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

#### 1. 「たちかわ市民財政白書」の普及

- ① 「たちかわ・財政学習会」の開催：9回(28.4~12)、延べ参加者：219名
- ② 「市民財政白書の報告と交流のつどい」共同開催：(28.6.4)
- ③ 「たちかわ市民交流大学・財政講座」協力開催：2回(29.2.12, 18)：参加者36名
- ④ 押しかけ出前講座：4回(談話サロン・人生を語る会・ネスコ準備会・都留文化大)

#### 2. 作成資料(追補版：3冊・29.3.1発行)および頒布状況

- ① 「なっとく 自治・政策・財政 市民ハンドブック」：84ページ(500冊)
- ② 「たちかわ市民財政白書 資料集」：118ページ(500冊)
- ③ 「たちかわ市民財政白書 資料集(別冊)」：60ページ(500冊)
- ④ チラシおよび学習会などで、市民・市議会議員・立川市職員などに広報・頒布中。
- ⑤ 「たちかわ市民財政白書」について、「立川市図書館」に無料配布し貸出し中

頒布数：185冊(29.3末現在)

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 白書づくりに多様な市民の参加が得られたこと<ul style="list-style-type: none"><li>・年齢・性別・職業歴・地域活動など、多様な市民が参加しています。(現会員数 21 名)</li></ul></li><li>2. 「たちかわ・財政学習会」に多くの市民などが参加したこと<ul style="list-style-type: none"><li>・財政と言う難しい分野に関わらず、多くの方が参加されました。(延 219 名、平均 24.3 名)</li><li>・参加者のうち 5 名の方が「追補版」の作成に参加されました。</li></ul></li><li>3. 「市民財政白書の報告と交流のつどい」を立川市で開催したこと<ul style="list-style-type: none"><li>・例年、多摩地区を中心に全国的に開催している会を、立川市で開催する事ができ、市民財政白書を作成している他市との交流が図れました。</li></ul></li><li>4. まちづくりへの「橋渡し」に貢献<ul style="list-style-type: none"><li>市民から見た問題点を、市民・議会が一体となって改善・改革していく為に、一人でも多くの市民の方々に身近な問題として考えて頂くような題材を提供する端緒になりました。</li></ul></li></ol> |
|---|

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>①29 年度には、27 年度に作成した「たちかわ市民財政白書」について、第 2 弾目の白書を作成・発行する。</li><li>②29 年度も「たちかわ・財政学習会」を引き続いて開催して行くことにより、更に一般市民の財政への関心を広げて行くと共に、立川市の財政を考える仲間の輪を広げて行く。</li><li>③「たちかわ市民交流大学」の「財政講座」に協力開催する。(講師の派遣・資料の提供)</li><li>④立川市内の色々な団体のイベントなどの機会を捉えて、多くの市民・市議会議員・自治体職員への普及活動を進めて行く。(押しかけ出前学習会)</li><li>⑤更に、2~3 年後を目途に、3 弾目の「たちかわ市民財政白書」の発行を目指して行く。</li></ol> |
|--|

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。	参考資料あり
---	--------



# 「夕張のいま」を知って ～立川市の財政を考えてみよう～

## ○第1回：「夕張市のいま」（講師：宮崎伸光さん）

- ・夕張市は、かつて石炭産業が栄えた時期に栄華を誇りました。しかし、石炭産業が衰退した後の地域経済活性化の試みは失敗し、膨大な借金を残し財政再建団体に転落しました。
- ・今回財政再建に向けた夕張市の現状・地域住民の生活・今後の地方自治再生の道筋について、鈴木夕張市長の大学での恩師であり、夕張市市史編さん員の宮崎伸光先生からお話を聞きます。

## ○第2回：「立川市の財政を考えてみよう」（講師：加藤良重さん 他）

- ・昨年度、立川市では市民が『たちかわ市民財政白書』を作成しました。今年度もつづけて『追補版』を作成しました。これをもとに、立川市の状況を中心に、地方自治と政策と財政の基本的な仕組みについてお話を聞きます。



宮崎 伸光さん

### 【第1回講師：宮崎伸光さん】

- ・法政大学法学部教授（行政学）・夕張市市史編さん員

### 【第2回講師：加藤良重さん】

- ・「たちかわ・財政を考える会」会長
- ・元自治体職員・大学等講師

・[日 時]・第1回：平成29年3月12日（日） 14:00～16:00

・第2回：平成29年3月18日（土） 14:00～16:00

・[会 場]：女性総合センター・アイム 5階・第3学習室

・[受 付]：生涯学習推進センター（042-528-6872）まで [平成29年2月10日から]

・[定 員]：30人（申込順） ・[保 育]：あり（事前申込み・1才～学齢前）

・[受講料]：無料 ・[資料代]：500円（「追補版」をお持ちの方は無料）

## 【参考資料の紹介】

### 【「たちかわ市民財政白書」(平成27年12月1日発行)】

- ・立川市の財政について市民として知っておきたいと考えられることを市民の目線から作成したもの。とくに専門的な知識をもたない一般市民が講座や相互学習を重ねながら一緒になって資料の収集・集計に当り作成しました。

### 【「追補版」(平成29年2月末発行)】⇒本講座で配布・使用予定

#### ○「自治・政策・財政 市民ハンドブック」

- ・納税者・主権者として知っておきたい自治・政策・財政の基本的な知識をできる限り簡潔に記述したもの。立川市の具体例を引用しているが、他の自治体の方は我が自治体に入れ替えてみると良い。

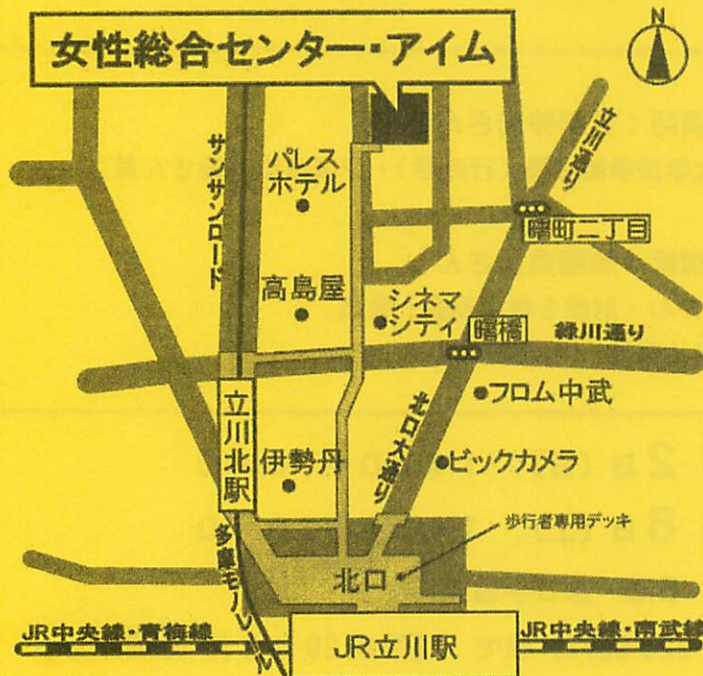
#### ○「たちかわ市民財政白書 資料集」

- ・白書や市民ハンドブックにおいて引用している資料(データ)を中心に各出典(原資料・元データ)から収集・収録したもので、自治・政策・財政を考える素材として活用すると良い。

#### ○「たちかわ市民財政白書 資料集 [別冊(決算カード)]」

- ・立川市を中心とした決算カード集。

[作成・発行:たちかわ・財政を考える会]



### 【会場へのご案内】

- (1)JR 立川駅北口より徒歩7分
  - (2)多摩都市モノレール立川北駅より徒歩6分
- \*受講者専用の駐車場・駐輪場はありません。